

大渡海

第43回青年部活動家労働講座を9支部18名の仲間と共に開催してきました。今活労講は、清掃事業の歴史を学ぶことができる貴重な機会であります。

講演では、清掃事業の歴史を聞きその中で『ごみ戦争』について触れ、ごみ問題は生活を脅かす危険性があるのだと再認識しました。

分散会では、各支部の職場実態、賃金実態について議論をし、共有することで新たな気づきに繋がっていきましました



杉並清掃工場見学に行ってきました。

講演

「清掃事業の歴史 東京ごみ戦争」について

昔は、処理・処分が十分に行われず、自治回収されたごみを講義指定請負人(雇上会社のルーツ)が埋立を行っていた。ただ埋め立てるだけのため、多くの公害が発生し、病気が多発する結果となりました。昭和初期には、東京初の焼却施設が建てられたが、ばい煙などを飛ばす迷惑施設となってしまうしました。時代が進み、高度経済成長期を迎えた人々の生活は、モノが豊かになる一方で、大量のごみを出すライフスタイルに変化しました。急激に増加したごみを処理するため、早急に清掃工場を建設しなければならぬ状況になってしまいます。

この後、ある問題がきっかけで「ごみ戦争」が宣言された。

ごみ戦争に至るまで

江東区夢の島へ搬入のため、多くの区から清掃車が行き交っていました。(1日に約5000台)これにより、汚水の垂れ流しや大量のハエが発生するなど、公害が多発し、社会問題となってしまいました。そして、東京都に対し『自区内処理の原則と迷惑負担公平』を訴えたが、不十分な返答がされました。

一方、杉並区では、区民や地権者に対し、東京都が説明のないまま工場建設を進めたことで、反対運動が勃発してしまいます。それにより、工場建設まで、長きに渡る闘いが始まります。

本当に江東区vs杉並区？

各区民は、互いに正義感を持って闘っていました。江東区が杉並区に対して行った、ごみの搬入阻止もその一つになります。これは、マスキミの取り上げ方により、いつの間にか、江東区vs東京都と杉並区vs東京都という認知に誤解が生まれ、対立関係という認識になってしまったのではないのでしょうか？



美濃部都知事

これにより、江東区は、ごみ搬入阻止を決定し、これ受けた美濃部都知事が「ごみ戦争」を宣言した。



施設見学

施設見学では、ごみの搬入経路から処理されるまでの流れや設備について見学してきました。始めて工場内部を見学した仲間からは「初めて工場見学をしたが多くのことを学べた。」「工場周辺の住民に対しての配慮がすごいと感じた」など興味を示す声もありました。

普段見ることが出来ない『清掃工場』を見学したことにより、清掃工場の仕事内容や働く仲間の想いなど聞けて実りある時間となりました。

施設見学の様子



(清掃工場周辺の地図の説明)



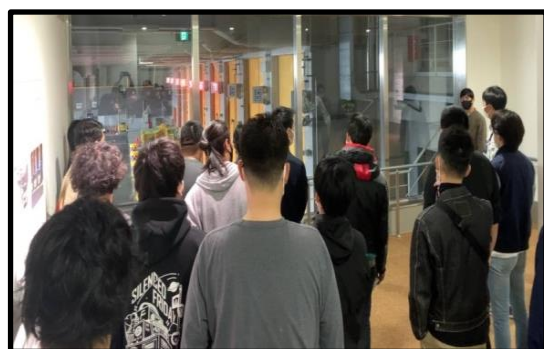
(中央制御室)



(ごみバンカ)



(ごみクレーン)



(プラットフォーム)



(焼却炉の映像)

分散会

『各支部の作業実態や賃金について』議論を行いました。話し合いの中で、支部によって働き方や考え方の違いがあり、青年たちが職場に対し不満や悩みを訴える声が多くありました。今後、職場の環境を改善していくためには、仲間との協力は必要不可欠です。悩みや不満を共有し、様々な話をする中で『横のつながり』の大切さを感じることができ実りのある分散会になりました。

分散会を通して、様々な意見や悩みなど共有しました！

その一部分をご紹介します！！



1グループ

須永 祥平さん(文京)
力武 光明さん(千代田) 瀬端 政之さん(中央)
深野 政人さん(大田) 齋藤 悠樹さん(練馬)

～青年たちの声～

コロナの影響により休みが取りづらい。

職場の雰囲気慣れない。

給料が20万以下を下回っている。

青年部活動について青年部の歴史を知りたい。各支部に出向いて作業してみたい。積極的に取り組んでいこうとする気持ちが伝わってきました。



2グループ

武井 直人さん(千代田)
石井 健太さん(中央) 大久保 翔平(品川)
鈴木 淳さん(台東) 跡邊 亮太(目黒)

～青年たちの声～

人員が少なく年休がとりづらい、ふれあい班のほとんどが1級職だが、仕事は技能長レベル。ふれあいでの仕事に関して、区民サービスとの境界線がわからない。(何でも屋になりかけてる)など職場の働き方に対し、疑問を抱く青年の声を聞くことができました。



3グループ

橋本 龍輝さん(中 央)
中西 裕太さん(品 川)

津田 成慶さん(千代田)
高井 祐輔さん(新 宿)

～青年たちの声～

ゆっくり歩く。焦らない作業を心掛けている。
親方によって走る必要がありとても大変だ。
各支部によって様々な考え方、働き方があることが分かった。まわりをみるぐらいの余裕がある作業をしたいという様々な作業実態が見えてきました。



4グループ

杉野谷 武市さん(台 東)

中井 有一さん(千代田) 山田 遥さん(品 川)

前田 則仁さん(新 宿) 三木 裕明さん(北)

～青年たちの声～

賃金については、不満がほとんどあった。
20万～25万円手取りで欲しいという声が多かった
現在の賃金では、一人暮らしするのが不安という声が多かった。
安全作業の面では、職員・区民の安全を考え、保護具・作業着・ヘルメットをしっかりと着用しての作業を心掛けている。
職場では、人員不足、年齢の高齢化、先輩たちに話しかけにくいなど様々な問題が見えてきました。



5グループ

山口 明日波さん(江 東)
中村 大祐さん(台 東)

田中 郁也さん(千代田)
村瀬 尚也さん(大 田)

～青年たちの声～

清掃の歴史に触れることができて良かった。
収集だけでは、清掃事業が成り立たないと再確認した。
ごみ戦争の歴史について知ることが出来た。
工場建設までの道のりや、工場の設計からくる地域住民への配慮に感銘を受けた。など青年たちとの熱い討論を繰り広げられていました。

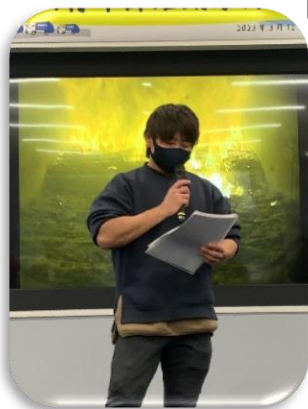


活労講に参加された皆さま

お疲れ様でした！！



最後に、武井教文部長の「団結頑張ろう！」で
青年たちと意思統一し、幕を下ろしました。



活労講を終えて

日曜日という貴重なお休みの中で参加された皆さま 1日お疲れ様でした。
学習会を通し、気づきや学んだことそして、他区の青年たちと様々な議論した
ことは、貴重な経験になったと思います。これからも共に頑張りましょう！



金子書記長
ありがとうございました。